

2020年度 入試情報

Admission

一般入試科目・配点一覧

志望学科	専修(専攻)等	試験科目										総合点	判定方法	
		専攻	声楽 (コンコーネ)	器楽	新曲視唱	楽典	聴音	コールユー ブング	国語(注5)	外国語(注5) 英語、ドイツ語、フランス語 より1科目				
演奏・創作学科	声楽	40	—	20	ピアノ	—	10	—	10	20	20	120	A	
	ピアノ・オルガン	40	—	—	—	10	10	—	—	20	20	100	A	
	電子オルガン	40	楽典演奏 即興演奏 和声(注1)	—	—	10	10	—	—	20	20	100	A	
	弦管打楽器	40	—	20	ピアノ	10	10	—	—	20	20	120	A	
	ジャズ	40 (注2)	—	—	—	10	10	—	—	20	20	100	A	
	作曲	40	和声等 ピアノ初見視奏 聴音	—	20	ピアノ	10	—	—	—	20	20	110	A
	コンピュータ音楽	40	志望動機 調査カード 口述試験(注3)	—	—	—	10	—	—	20	20	90	A	
	音楽教育	—	—	20	20	ピアノまたは 電子オルガン	10	10	—	—	20	20	100	C
音楽文化教育学科	音楽療法	40	小論文 面接	20	20	ピアノまたは 電子オルガン	10	10	—	—	20	20	140	B
	音楽情報	30	小論文 面接	—	20	演奏(注4)	—	10	—	—	20	20	100	A
	幼児音楽教育	—	—	20	20	ピアノまたは 電子オルガン	10	10	—	—	20	20	100	D
	音楽教育	—	—	20	20	ピアノまたは 電子オルガン	10	10	—	—	20	20	100	C

- 注1 電子オルガンは、1 楽典演奏、及び2(1)即興演奏A (2)即興演奏B (3)和声の3つの中から2つを選択となります。
- 注2 ジャズ専修は、専攻試験時に面接を行います。
- 注3 コンピュータ音楽専修は、専攻の口述試験時に(1)演奏と作品解説、または(2)提出物のプレゼンテーションが課されます(どちらかを選択)。(1)の場合は、歌唱または楽器(楽器は自由:2019年度入試実績)より選択して演奏し、その作品について解説します。(2)の場合は、音楽や音を中心に用いたオリジナル作品やソフトウェア、もしくは企画書を出願時に提出(作品形態は自由)し、試験時にプレゼンテーションを行います。
- 注4 音楽情報専修の演奏は、楽器または歌唱より選択ですが、楽器の指定はありません(2019年度入試実績)。
- 注5 国語と外国語の試験については、**大学入試センター試験の利用が必須**となります(国語は現代文のみ、英語はリスニングを含む)。

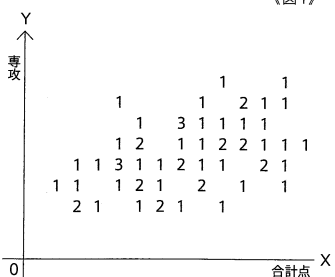
合否判定方法

右記「合否判定分布表」をご覧ください。本学では合否の判定をコンピュータ処理による「専攻」と「合計点」の分布表によって行っています。つまり、専攻と、専攻を除いた科目の合計点にそれぞれボーダーラインを設け、両方のボーダーラインを突破した者のみ合格とするシステムです。この縦軸にあたる「専攻」(Y軸)と横軸の「専攻以外の合計点」(X軸)のそれぞれの内容は、専修(専攻)によって異なります。それを示したのが右記A~Dで、上記「入試科目・配点一覧」の表、一番右側のアルファベットに対応しています。

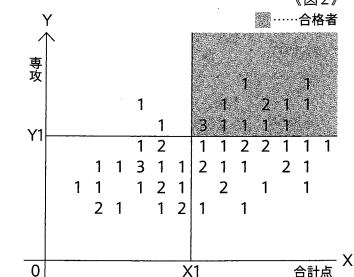
ごくまれですが、いずれかの科目で得点にならないような低い得点を取ると、右記の関係を満たしていても不合格となることがあります。また、課題曲違いなどの場合も不合格となります。

専攻(Y軸)	合計点(X軸)
A 専攻	専攻以外の合計点
B 専攻+声楽+ピアノまたは電子オルガン	新曲視唱+楽典+国語+外国語
C 声楽+ピアノまたは電子オルガン+新曲視唱	楽典+国語+外国語
D 国語+外国語	音楽関係科目

[合格判定分布表] (図1)



(図2)



入試科目と併願

◆入試科目は、受験生の負担減とそれぞれの特色を前面に出す設定がされています。例えば、新曲視唱、楽典、聴音、コールユーブング、国語、外国語に注目してください。新曲視唱と聴音の能力は、お互い極めて密接な関係にあることが分析の結果、判明しています。そこで原則的にはいずれか一方を課すようになっています。作曲専修の入試では、専攻試験の中で和声などの音楽理論の試験を受けますので、ほかの専修(専攻)では受けなければならない「楽典」が免除されます。一方、ピアノに限定されていた器楽も別の楽器に幅を広げたとあります。

◆第2志望の併願を認めています。併願できない組み合わせもありますので、右記1志・2志併願表をご覧ください。また入試科目が異なることとなりますので、併願先で必要な科目を受験しなければなりません。詳細は入学試験要項でご確認ください。

[1志・2志併願表]

第2志望	第1志望						
	声楽/ 鍵盤楽器/ 弦管打楽器/ ジャズ	作曲	コンピュータ 音楽	音楽教育	音楽療法	音楽情報	幼児音楽 教育
声楽/鍵盤楽器/ 弦管打楽器/ジャズ	×	○	○	○	○	○	○
作曲	○	×	×	○	×	×	○
コンピュータ音楽	○	×	×	○	○	○	○
音楽教育	○	○	○	○	○	○	○
音楽療法	○	×	○	○	○	○	○
音楽情報	○	×	○	○	○	○	○
幼児音楽教育	○	○	○	○	○	○	○

※○印は併願可。×印は併願不可。ただし、演奏・創作学科のピアノ、オルガンの併願は認めず。

一般公募推薦入試科目

志望学科	専修(専攻)	科目			
		専攻	声楽(コンコーネ)	器楽(ピアノ)	楽典
演奏・創作学科	声楽/鍵盤楽器(ピアノ/ オルガン/電子オルガン)/ 弦管打楽器/ジャズ	◆演奏実技 ◆志望理由書の提出 ◆面接	—	—	○
	作曲	◆作品提出(注1) ◆聴音 ◆面接	—	—	—
	コンピュータ音楽	◆志望動機調査カードの提出	—	—	○
音楽文化教育学科	音楽教育	◆志望理由書の提出	○	○	○
	音楽療法	◆小論文	○	○	○
	音楽情報	◆論文の提出	—	—	○
	幼児音楽教育	◆志望理由書の提出	○	○	○

- 注1 自らのオリジナル作品であること。楽器(声を含んでもよい)編成は自由。自筆による手書き楽譜のコピーを提出。2作品まで提出可。
- 注2 ソプラノ課題またはバス課題。試験時間150分。
- 注3 専攻の口述試験時に演奏と作品解説、または提出物のプレゼンテーションが課されます(どちらかを選択。詳細はP.74「一般入試科目・配点一覧」注3参照)。

特別給費奨学生入試概要

志望学科	募集専修	1次試験	2次試験 (注1)	募集人数
演奏・創作学科	声楽	書類選考	楽典 演奏実技 面接	10名以内 全額免除: 2名以内 半額免除: 4名以内 4分の1免除: 4名以内 (注2,3)
	鍵盤楽器(ピアノ)			
	弦管打楽器			

- 注1 2次試験は1次試験合格者のみ受験できます。
- 注2 2次試験で特別給費奨学生として不合格となった場合でも、一定基準の成績の場合には「特別推薦入学生」として合格する場合があります(若干名)。
- 注3 特別給費奨学生として入学した学生には次のような特典があります。
(1)学費全額/半額/4分の1免除(原則4年間)※
(2)2倍のレッスン時間
(3)国際的に活躍する音楽家による特別レッスン
(4)国内外の講習会受講を補助(最大2回まで。審査あり)
※「特別給費奨学金」を学費(入学金・後援会費を除く)に充当します。原則4年間給付されますが、3年次に進級する際に奨学金継続についての審査があります。

※入学者選抜(予告)を本学Webサイト上に掲載しております。